

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



雪が積もった滝子(山の畑)キャンパス [写真提供]名古屋市立大学 水谷 佳幸(経済学部2年)

特集

名古屋市立大学 開学65周年記念事業

- 人文社会学部創立20周年 創立記念式典
- 芸術工学部20周年 記念シンポジウム
- 名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会

- 01 特集
- 03 NCU現場探訪レポート
- 04 TOPICS
- 05 学生の活躍
- 06 受賞関連／国際交流／著書・発行物紹介
- 07 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます。
ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

名古屋市立大学 開学65周年記念事業

2015年10月、名古屋市立大学は開学65周年記念式典を開催し、大いに盛り上がりました。

さらに11月には、人文社会学部創立20周年記念式典、芸術工学部20周年記念シンポジウムを開催するなど、2015年度を通して行ってきた開学65周年記念事業もいよいよ大詰め。

今後も、2020年の開学70周年に向けて継続的に事業を展開していきます。

人文社会学部創立20周年!

創立記念式典でシンボルツリー「八重桜」を植樹

人文社会学部では、創立20周年を記念して、「つながろう!人社」をテーマに様々なイベントを行ってきました。



初代学部長 城戸毅氏(右)より成人認定書を授けられました

2015年11月7日(土)には、その集大成として創立20周年記念式典が行われ、シンボルツリー「八重桜」を滝子(山の畑)キャンパス1号館前に植樹しました。植樹は参加者全員により行われ、これまでの人文社会学部に関わったすべての人と、これから人文社会学部に関わるすべての人を「つなげる」記念すべき日となりました。

12月5日(土)には人間文化研究所設立10周年を記念した記念講演とシンポジウムを開催しました。



記念植樹の様子

人文社会学部の
学生が中心となって
制作した記念誌



芸術工学部20周年!

「芸術工学部の20年とこれから」を語る記念シンポジウム



参加者全員で記念写真をパシャリ

2015年11月21日(土)、芸術工学部20周年記念シンポジウムを開催しました。第1部では、各分野で活躍している卒業生・修了生が、現在の仕事や芸術工学部で学んだことについてプレゼンを行いました。第2部では、当時、学部設立準備委員としてご尽力された、初代学部長の柳澤忠名誉教授、デザインディレクターの川崎和男名誉教授、元研究科長の森島紘名誉教授の3名をお招きして、学部創設の頃の思いやビジョン

のほか、芸術工学部の展望について熱く語っていただきました。



芸術工学部への熱い思いを語り合いました



荒俣宏氏 講演の様子

名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会を開催

2016年2月6日(土)、平成27年度名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会を名古屋マリオットアソシアホテルにて開催し、約250名が参加しました。

総会は、交流会会長の郡理事長・学長による挨拶に始まり、記念講演会では、作家で博物学者の荒俣宏氏をお招きし、「毎日が好奇心 知的冒険のスズメ」と題して講演い

ただきました。常識や定説にとらわれない鋭い視点でユーモアを交えながらの講演に皆引き込まれていました。

懇親会では、年代や学部を越えた参加者で会場があふれ、様々な交流の輪(和)が広がりました。交流会事業を通じて名市大家族の絆がさらに深まることを願っています。

開学65周年記念事業アラカルト

本学教職員×本学管弦楽団 管弦楽団第60回定期演奏会で演奏!

2015年12月27日(日)、本学管弦楽団の第60回定期演奏会を開催しました。今回は開学65周年を記念し、本学の教職員らを含む約140名で合唱団を結成しました。指揮者経験を持つ医学研究科の鈴木貞夫教授の指導のもと、7月から練習を重ね、本番当日は、「ベートーヴェン交響曲第9番二短調作品125」を本学管弦楽団・プロのソリストらとともに演奏しました。会場である愛知県芸術劇場のコンサートホールへたくさんの方にご来場いただき、アンコールもいただくなど、開学70周年へと繋がる記念すべき演奏会となりました。



22世紀研究所講演会を開催!

テーマ 「体ができる仕組み:原理の追求と医学への応用」

2015年11月12日(木)、22世紀研究所講演会を開催し、142名の方にご参加いただきました。

講演では、講師の濱田博司氏(理化学研究所 多細胞システム形成研究センター センター長)に、多細胞システム形成研究センターで行われている研究や、動物の体の左右非対称性に関するご自身の研究を通して、「基礎研究の魅力」を紹介していただきました。



濱田博司氏 講演の様子

経済研究所 第20回公開シンポジウムを開催!

テーマ 「市場間競争時代における証券取引所の果たす役割」

2015年11月20日(金)、経済研究所主催の第20回公開シンポジウムを開催しました。東海地方の金融システムを担う名古屋証券取引所の現状を再認識すると同時に、地域金融での役割を含めた今後の金融システムの動向について、アカデミックと実務両面からの一流の専門家4名を招き、講演・議論を行いました。



女性上位職事例紹介シンポジウムを開催!

テーマ 「大学と企業の女性リーダーの生き方に学ぶ」

2015年11月26日(木)、わが国の未来を切り拓く女性リーダーの育成をめざし、「女性上位職事例紹介シンポジウム」を開催しました。AICHI女性研究者支援コンソーシアムとして名古屋大学・豊橋技術科学大学と共同で実施され、次世代を担う学生や若手研究者のチャレンジを応援し、女性リーダーを登用するために必要な方策を来場された方々と一緒に考える場となりました。



熊本大学副学長 山縣ゆり子氏
基調講演の様子

看護実践研究センター なごや看護生涯学習公開講演会を開催!

テーマ 「地域包括ケアシステムの構築」

2015年12月11日(金)、高齢者住宅財団理事長の高橋紘士氏をお招きし、「地域包括ケアシステムの構築～医療看護介護福祉の連携から地域づくりへ～」をテーマにご講演いただきました。地域の中で家族の絆を大切にケアの推進、多職種による連携、ホームホスピスの取り組みなどを具体的にご紹介いただき、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを考える貴重な機会となりました。



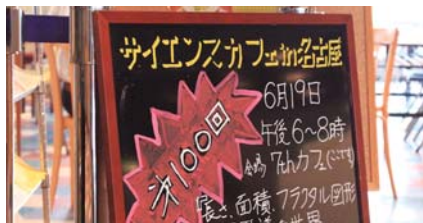
高橋紘士氏 講演の様子

現場探訪レポート

名古屋市立大学の取り組みを、学部・研究科・事務局それぞれの「現場」の視点からお届けいたします。

システム自然科学研究科

コーヒーを飲みながら科学の話題を ～サイエンスカフェが100回を達成しました～



システム自然科学研究科は、市民の皆さんとの交流を通じて科学技術に対する関心と理解を深めることに貢献することを目的として、2006年6月からほぼ毎月のペースでサイエンスカフェを開催しています。2015年6月には100回を達成いたしました。

た。大学主催のサイエンスカフェで100回を越えるものは数えるほどしかなく、公立大学では極めて珍しいです。最近では人気も上々で、定員30名のところ、毎回40～50名の参加者で溢れています。アンケートに寄せられた感想には、「リラックス」「家庭的」「開放的」「和やか」など、気軽に科学の話題を楽しんでいる様子が伺えます。中には、「皆さんの食い入るような視線や熱気を感じているこの第三金曜日の1時間半はとても素晴らしい空間をつくりあげています。こういう瞬間は人間しかつくることのできない創造空間だと思います。」という声も。今後も、科学に興味のある市民の皆さんの好奇心を満足できる場を提供していきたいと考えています。



講義の様子。写真のように、器具を使って皆さんの目の前でわかりやすく説明することも。

▶最新情報はこちらをご覧ください。「開催報告」には過去の回の様子を写真付きで紹介しています。
<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/>

医学部附属病院

救命救急センターのご紹介

救命救急センターとは、急性心筋梗塞や脳卒中、多発外傷など生命に関わる重篤な患者さんを救命し、高度な医療技術を提供する医療機関のことです。当院では、救命救急センターとして重篤な患者さんの診療を行うことが使命ですが、地域に根ざした大学病院を目指して、かかりつけの患者さんや近隣に住む患者さんに対しては、重症・軽症を問わず24時間の受け入れを行っています。また、地域の医療機関との連携を大切に考えており、診療所や病院からのご相談や患者さんの受け入れを積極的に行っています。

2015年9月には、救命救急センターで診断と初期診療を行う「救急科」の体制を強化しました。3名の部長を含む6名の救急専従医を置く体制で全診療科とともに24時間365日、質の高い救急医療を提供すること

を目指しています。

救急医療は、少子高齢化社会が進む中で、今後ますますその重要性を増して来ます。我々は、時代の変化に柔軟に対応し、患者さんの目線に立った救急医療を実践するよう、広い視野に立った新しい時代の救急医・医療スタッフの育成を目指しています。



救命救急センター、救急科の中心メンバー
 前列左から 三浦救急科副部長、松嶋救急科部長、大原救命救急センター長
 後列左から 菅野救急科部長、服部救急科部長、山岸救急科副部長



救命救急センターの診療の様子 初期研修医と救急救命士(実習中)

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

科研費の平成27年度採択件数が 上位にランクイン!

■科研費とは?

科研費は正式名を科学研究費助成事業といい、全ての研究活動の基盤であり、「国力の源」となる「学術研究」を幅広く支援する我が国唯一の研究助成制度です。基礎・応用に拘らず「学術研究」の全ての分野を対象とし、専門分野の近い複数の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な「学術研究」に対する助成を行うものです。

その科研費の今年度採択件数において、本学は全国38位と、上位に入りました。細目別採択件数上位10機関のランキングにおいても、数々の分野が上位にランクインしています。



医学研究科 上島通浩教授(左)、薬学研究科 星野真一教授(右)

また科研費の実施機関である日本学術振興会では、科研費の配分審査において、有意義な審査意見を付し、公正・公平な審査に貢献した審査員に対し、毎年表彰を行っています。今年度は本学から、医学研究科 上島通浩教授と薬学研究科 星野真一教授が表彰されました。

平成27年度科研費採択件数
上位ランクイン分野

泌尿器科学	1位
生物系薬学	6位
薬理系薬学	6位
創薬化学	6位
消化器内科学	7位
医療系薬学	8位
(旧)各国文学・文学論	10位

「大学の地域貢献度ランキング」で 総合14位に躍進!

2015年12月に日本経済新聞社 産業地域研究所が発表した「大学の地域貢献度に関する全国調査2015」の総合ランキングにおいて、本学が14位(東海地域では1位)にランクインしました。この調査は、大学が人材や研究成果をどれだけ地域振興に役立っているかを調べるもので、全国の国公立大学を対象に平成18年から毎年実施されており、本学は前回の44位から大幅に順位を上げました。

宇宙開発に活用!

JAXAの公募に採択されました

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の公募2件に、本学の研究者が以下の通り採択されました。

今後、宇宙開発にかかるJAXAとの共同研究を進めていきます。

■平成27年度「JAXAオープンラボ公募」

「固定化コロイド結晶の作成技術を活用した 新規センシング材料の開発」

薬学研究科 山中淳平教授・平嶋尚英教授・
奥園透准教授・豊玉彰子講師
富士化学(株)

■平成27年度「きぼう」利用フィジビリティスタディ(FS)

「神経変性疾患の発症機構解明に向けた 微小重力環境下でのアミロイド線維形成と性状評価」

薬学研究科 加藤晃一特任教授

「微小重力を用いた多成分会合コロイド系の相挙動の研究」

薬学研究科 山中淳平教授

郡学長が「歌会始の儀」を陪聴

2016年1月14日(木)、皇居において催された「歌会始の儀」にて、郡健二郎学長が陪聴者としてご招待賜り、大変名誉な機会を頂戴いたしました。

ハンディタイプの紫外線皮膚治療器

「セラビーム® UV308 mini」販売開始!

医学研究科 森田明理教授とウシオ電機(株)との共同研究の成果であるハンディタイプの紫外線皮膚治療器「セラビーム® UV308 mini」が2016年2月1日(月)より販売開始されました。本学帰属特許の製品化第1号である現行機種(セラビーム® UV308、2008年発売、世界6か国・累計約500台利用)に比べ、大幅な小型・軽量化を実現し、患部への効率的な治療が可能となることが特長です。



ウシオ電機(株)による表敬訪問の様子

陸前高田市の中学生在が看護職の職場を体験



2016年1月7日(木)、医学部附属病院に2名の中学生が陸前高田市から来院しました。最初は緊張した面持ちでしたが、足浴のお手伝いをした患者さんから感謝の握手を求められ、「とてもうれしく印象的な体験でした」と話していました。

「全国大学サイト・ユーザビリティ調査」で

本学が全国第2位にランクイン!

「全国大学サイト・ユーザビリティ調査2015-2016」(日経BPコンサルティング社)の調査結果が発表され、本学公式ウェブサイトが総合スコアランキングにおいて全国213大学中第2位(公立大学第1位)となりました。

この調査は、優れた大学サイト構築の指針を提示することを目的に、大学サイトの使いやすさ等を評価したものです。



▶本学公式ウェブサイト
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/>



学生の活躍

グランプリ受賞 大神ゼミの皆さん



経済学部・人文社会学部×日本航空(株)×名鉄観光サービス(株)

今年は沖縄! 産学連携コラボ企画

「旅行商品開発プロジェクト2015」グランプリ決定!

経済学部と人文社会学部から計50名・8チームが参加した「旅行商品開発プロジェクト2015」で「家族で彩る7色パレットラリー旅行In沖縄」(経済学部 大神正道講師ゼミ)が、旅行の行程を色で特徴付けた点を高く評価され、グランプリに選ばれました。

また、審査員より着眼点がすばらしいとの評価を受け、特別賞として「1人でも安心沖縄オリジナル1人旅」(経済学部 出口将人准教授ゼミ)が選出されました。今後、名鉄観光サービス(株)から来年の旅行商品として造成・販売される予定です。



審査員特別賞受賞 出口ゼミの皆さん



経済学部・芸術工学部×(株)サークルKサンクス

連携プロジェクトでコラボ幕の内弁当を開発!

(株)サークルKサンクスと連携し、経済学部(河合篤男教授ゼミ)と芸術工学部(横山清子教授指導)の学生が幕の内弁当「ほっこり幕の内」を開発しました。「ほっこり幕の内」は経済学部の学生がアンケート調査・分析を行い、その結果をもとに経済・芸術工学部の学生が(株)サークルKサンクスと幾度も意見交換や試食を重ねて完成させました(「ほっこり幕の内」は2016年1月25日(月)をもって販売を終了しています)。

り幕の内」を開発しました。「ほっこり幕の内」は経済学部の学生がアンケート調査・分析を行い、その結果をもとに経済・芸術工学部の学生が(株)サークルKサンクスと幾度も意見交換や試食を重ねて完成させました(「ほっこり幕の内」は2016年1月25日(月)をもって販売を終了しています)。



ポスターなどの販促物は芸術工学部の学生が制作

学生の受賞

薬学部

日本病院薬剤師会東海ブロック・
日本薬学会東海支部
合同学術大会2015
ベストプレゼン賞

〈受賞者〉
薬学部6年 富田陽香さん

「トリ型結核菌Mycobacterium aviumにおける酸耐性機構の解析」を発表し、優れた演題としてベストプレゼン賞に選ばれました。



経済学部

ISF日本政策学生会議 分科会賞

〈受賞者〉経済学部3年(板倉教授ゼミ)
写真左より 細江彩芳さん、杉原舞さん、石上竜汰さん、
石川祥太郎さん、山本聖也さん

日本の未来を考える志高い学生たちの政策立案と政策の実現に向けた論文発表を行う学生会議において、「国家戦略としての航空機関連産業」という題目で発表し、分科会賞に選ばれました。



大学院 芸術工学研究科

James Dyson Award 2015 国内最優秀賞

〈受賞者〉大学院 芸術工学研究科
2年 本田光太郎さん(写真中央)、1年 河内貴史さん(写真右)

エンジニアリングやプロダクトデザインを専攻している大学生、または卒業後4年以内の人を対象とした国際エンジニアリングアワードです。災害時に非常灯になるつり革を提案し、日本国内審査において最優秀賞に選ばれました。



人文社会学部

Symposium on Second Language Writingで
論文発表

〈受賞者〉人文社会学部 4年 伊藤真那美さん

第二言語ライティングで権威ある国際学会年次総会で論文発表を行いました。世界中から約350人の研究者が集まる総会で、20分の発表と10分の質疑応答を全て英語でやり遂げました。



芸術工学部

日本風呂敷協会 第13回
ふるしきデザインコンペ 最優秀賞

〈受賞者〉芸術工学部
3年 西野葉子さん

新しい風呂敷開発を目的としたデザインコンペです。「ふるしき再発見」のテーマにおいて、最優秀賞に選ばれました。



PRIZE 受賞

※受賞期間: 2015年11月1日~2016年1月31日 ※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に掲載



日本泌尿器内視鏡学会
第15回 KARL STORZ賞
理事長・学長
郡 健二郎



日本医師会 平成27年度
日本医師会医学研究奨励賞
中華人民共和国常州市
第十三次自然科学優秀
科技論文 2nd prize
腎・泌尿器科学分野 講師
岡田 淳志



日本泌尿器内視鏡学会
第6回学会賞
腎・泌尿器科学分野
助教
濱本 周造



DMPK Editors' Award
for the Most Excellent
Article in 2014
臨床薬学分野 准教授
岩尾 岳洋



第9回
行動経済学会年次大会
行動経済学会奨励賞
准教授
坂和 秀晃

平成27年度
医学教育等関係業務
功労者表彰



医学研究科
細胞生化学分野 衛生技師
山田 千里

文部科学省より、医学教育等関係業務において特に功績顕著な者として表彰されました。

第3回 男女共同参画奨励賞

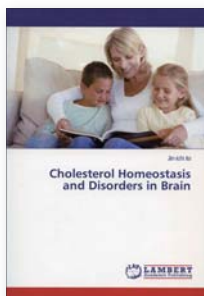


人文社会学部 4年
荒井 みずきさん(写真中央)、田中 好美さん(写真右)
岐阜市女性センター・所長(人間文化研究科修了)
寺松 みどり氏(写真左)



最近発行された教員の著書・発行物等を紹介いたします。

●教職員の皆様へ…本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。

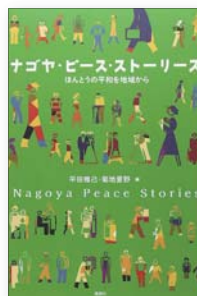


「Cholesterol Homeostasis and Disorders in Brain」

著者: 医学研究科
病態生化学分野 准教授
伊藤 仁一

BOOK 01

2015年11月
出版: LAP Lambert Academic Publishing



「ナゴヤ・ピース・ストーリーズ ~ほんとうの平和を地域から~」

編者: 人間文化研究科
准教授 平田雅己
准教授 菊地夏野

BOOK 02

2015年10月
出版: 風媒社

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

モンペリエ・ポール・ヴァレリー大学と交流協定を締結

2015年12月1日(火)、フランス・モンペリエ市のモンペリエ・ポール・ヴァレリー大学と大学間交流協定を締結しました。これにより大学間交流協定校は26校となりました。

ハジテペ大学短期臨床研修

2015年11月16日(月)より、トルコの協定校ハジテペ大学から2名の医学部生を受入れ、臨床研修を実施しました。2014年10月に大学間交流協定を締結し、初めての交流事業となりました。



研修先の診療科にて

平成27年度 外国人客員研究員等の招へい (2016年3月末まで)

医学研究科	Russ Chess-Williams (ラス・チェス・ウィリアムス) 国籍: オーストラリア
薬学研究科	Allan Patrick G Macabeo (アラン・パトリック・マカベオ) 国籍: フィリピン
芸術工学研究科	Patrick Nardin (パトリック・ナルダン) 国籍: フランス Tatsuyuki Aoki (タツユキ・アオキ) 国籍: アメリカ

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

開学65周年記念イベント

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
3.18 FRI	開学65周年記念作品 長編映画「儂時計」上映	19:00～ ミッドランドスクエアシネマ 費用:無料(但し、希望者多数の場合、抽選となる場合あり)	詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。 http://goo.gl/forms/VHeD4tyOSy

授業公開

開催日	内容	場所	対象・受講料	申込方法
4.12 TUE - 7.29 FRI	①経済学部 1科目 ②人文社会学部 7科目 ③芸術工学部 1科目	滝子(山の畑)キャンパス 北千種キャンパス	対象:原則として名古屋市内在住又は 在勤の満20歳以上の社会人で、 開講期間中継続して受講可能な方 受講料:1科目につき3,000円	詳しい日程・申込方法はホームページ http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/ をご覧ください。 申込締切:3月11日(金)消印有効

医学部附属病院 市民公開講座

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法・対象
3.27 SUN	「難治性潰瘍性大腸炎・クローン病克服のための 新たな挑戦～新規治療薬臨床応用を目指して～」 講師:医学部附属病院 消化器内科 講師 谷田 諭史	13:30～14:30 桜山(川澄)キャンパス医学部附属病院 病棟・中央診療棟4階 第1会議室 費用:無料 定員:先着100名	申込不要 対象:炎症性腸疾患患者さんとその家族及び 炎症性腸疾患の病気や治療に興味のある方

医療・保健 学びなおし講座 春期

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
4.12 TUE - 7.28 THU	開講テーマ 「感染症・生活習慣病」「脳・認知症」 「地域・在宅医療」 (全15回)	18:30～20:00 桜山(川澄)キャンパス医学部研究棟 11階講義室A 費用:1講座14,800円 定員:各60名程度	所定の申込用紙に記入の上、 メール添付または郵送にてお申し込みください。 メール:manabi@med.nagoya-cu.ac.jp TEL:853-8077 FAX:842-0863

Human&Social サイエンスカフェ

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
4.16 SAT	第75回 シリーズ「欧米」を考える(6) 「たかが冠詞(名詞形)、されど冠詞(名詞形) 一日英比較言語学の世界へようこそ」 (前回好評につき、アンコール講演) 講師:人間文化研究科 教授 日木 満	15:00～17:00 桜山(川澄)キャンパス西棟1階 サクラサイドテラス 費用:1,000円(スイーツ盛合せ+飲み物)	お名前・ご連絡先・参加希望講座名を記入の上、 お申し込みください。 メール:institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL:FAX:052-872-3536 ※開催月の1か月前の第1月曜日(月曜日が休日の場合は その翌日)より申込開始。

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
3.18 FRI	第107回「数学における右手と左手」 講師:名古屋工業大学 教授 平澤 美可三 氏	18:00～20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th café(セアンスカフェ) 費用:600円(飲み物+お菓子) 定員:先着30名	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)を ご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の翌週から、次回開催分の受付を 開始いたします。
4.15 FRI	第108回「生態学最前線～昆虫の脳から地球環境問題まで～」 講師:名古屋大学 特任助教 石川 由希 氏 システム自然科学研究科 准教授 村瀬 香		
5.20 FRI	第109回「暮らしの中の科学と統計のリテラシー ～それは科学ですか、それは正しい統計解釈でしょうか～」 講師:システム自然科学研究科 准教授 片山 詔久		

卒業式

3.25 FRI 10:00～
会場:名古屋市公会堂 大ホール

入学式

4.5 TUE 10:00～
会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。
大学振興基金へのご寄附は、教育研究等の振興を
図るために使用させていただきます。
なお、開学65周年記念事業に対する寄附顕彰に
ついては、別紙をご覧ください。

100,000円以上 黒野 幸久 様 非公表 臼井 英晶 様、大島 忠之 様、金子 典代 様、
50,000円以上 黒野 加直子 様、津田 喬子 様、 熊澤 慶伯 様、榎原 知美 様、櫻井 宣彦 様、
津田 洋幸 様 沈 海農 様、村上 賢治 様
10,000円以上 青柳 忍 様、姜 きほ 様、
木藤 新一郎 様

※五十音順。2015年10月1日から12月31日までに寄附いただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

〈お詫びと訂正〉2015年11月発行「創新vol.19」に誤りがありましたので、お詫びの上、下記の通り訂正いたします。

P1「学長挨拶～開学65周年記念式典に寄せて～」 (誤)この間、毎年4,000名余りの逸材を社会に輩出し、
→(正)この間、毎年700名余りの逸材を社会に輩出し、

ご意見・情報 募集中!

＜本学教職員の皆さまへ＞

広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。
また、広報に関する報告・相談には、教職員限定サイト「広報ホットライン」をご活用ください。

ご協力ください

敷地内・周辺道路は禁煙です。

